

令和7年3月10日
山梨県環境・エネルギー部大気水質保全課
課長 野中 俊宏
電話 055-223-1511 (内線 6400)

報道関係者各位

リニア工事掘削土仮置き場(笛吹市境川町)の土壤検査結果 及び改善報告について

リニア中央新幹線の架道橋工事現場で発生した有害物質を含む掘削土の取り扱いが不適切であったことを受け、県では2月17日(月)に現地の周辺環境調査を実施しました。

今般、土壤の検査結果が判明するとともに、別添のとおりJR東海から原因及び改善内容の報告がありました。

【土壤検査結果について】

○取り扱いが不適切であった仮置き場の原地盤の土壤(2地点)を採取、鉛を分析しました。

○検査結果

- ・2地点ともに、土壤汚染対策法で定める基準値を下回りました。

	地点番号	結果	基準値
土壤溶出量	①	<0.005mg/L	0.01mg/L
	②	<0.005mg/L	
土壤含有量	①	<15mg/kg	150mg/kg
	②	<15mg/kg	

※ なお、JR東海でも同日に検査をしており、いずれの地点も基準値を下回りました。

【周辺環境への影響について】

○令和7年2月20日(木)にお知らせした水質検査の結果(全地点で環境基準に適合)と合わせると、周辺環境への影響はないものと考えられます。

【JR東海からの報告(別添)の概要】

報告日: 令和7年2月28日(金)

原因: 施工前に受注者(中央新幹線第一・第二中央自動車道架道橋ほか新設工事共同企業体)が、掘削土から地面への浸透を防止する措置を施工計画書に記載すべきところ、それを怠った。また、発注者(JR東海)は、記載漏れに気がつかなかった。

改善内容: 受注者がチェックリスト等を活用し、工事内容に関連する環境保全措置を漏れなく施工計画書に反映する。環境保全措置に漏れがないかの視点から、発注者と受注者で相互に確認する。

<報告に関する問い合わせ先> JR東海 広報部 TEL03-6711-9731

調査地点位置図



(地図は Googlemap より転載)